

伊万里 市議会だより

第47号 平成25年
(2013年)

10月



伊万里牛と伊万里ねぎ



秘窯の里 大川内山

Autumn
IMARI

9月補正額

3億8,136万円

予算総額

234億4,794万円

対前年度同期

+19億5,621万円、+9.1%

『いまり秋祭り』
2日間開催決定!!

★平成25年第4回定例会は12月2日(月)開会予定です。

平成25年伊万里市議会第3回定例会
会期日程

9月 開議時刻 午前10時

日	種別	内容
2(月)	本会議	開会 会議録署名議員の指名 会期の決定 市長提出議案等19件……一括上程 市長提出議案等の提案理由説明
4(水)	本会議	議案等に対する質疑
5(木)	本会議	議案等に対する質疑 決議案の上程 決議案の提案理由説明 決議案に対する質疑 決議案の討論、採決 特別委員会委員の選任(企業会計決算審査特委設置) 特別委員会正副委員長の互選 議案の常任委員会及び特別委員会付託
6(金)	休会	特別委員会(交通網・港湾・企業誘致)
9(月)	休会	特別委員会(防災・環境施設)
10(火)	本会議	一般市政に対する質問
11(水)	本会議	一般市政に対する質問
12(木)	本会議	一般市政に対する質問 市長提出議案1件……上程 市長提出議案の提案理由説明 議案に対する質疑 議案の常任委員会付託
13(金)	休会	常任委員会
17(火)	休会	常任委員会
18(水)	休会	正副委員長会
20(金)	本会議	市長提出議案等14件……一括上程 市長提出議案等の提案理由説明 議案等に対する質疑 決議案等の提案理由説明、質疑、討論、採決 特別委員会委員の選任(一般会計及び特別会計決算審査特委設置) 特別委員会正副委員長の互選 議案の特別委員会付託 常任委員会報告 常任委員会報告に対する質疑 特別委員会中間報告 特別委員会中間報告に対する質疑 議案の付議順序により討論、採決 閉会

ホットコーナー

いまりんモーモちゃん
「ゆるキャラグランプリ」に出場!!

いまりんモーモちゃんが、ゆるキャラNo.1を決定する「ゆるキャラグランプリ」に出場しました!!

伊万里市PRのためにがんばる『いまりんモーモちゃん』の応援、投票をお願いいたします。



くわしくは [ゆるキャラグランプリ2013](#)

次の人事案件を同意・承認しました

- 教育委員会委員
森 哲也氏(再任)
- 固定資産評価審査委員会委員
井手 光路氏(新任)
- 人権擁護委員
萩平加枝子氏(新任) 立花町
古川 文雄氏(新任) 松浦町
和嶋 一範氏(再任) 黒川町

定例会会期日程など

決議

○飲酒運転の撲滅に関する決議
全会一致採択

○市民の安全と安心のための原子力安全協定締結に関する決議
賛成多数 採択

市民の安全安心のため、九州電力との「事前了解」を含む安全協定を求める「塚部市長」の考えを支持し、議会としても努力するというもの。

意見書

○地方財源の充実確保を求める意見書
全会一致採択

○伊万里市への具体的な原発対策を求める意見書
賛成少数 否決

佐賀県知事に対し伊万里市への具体的な原発対策を求める内容のもので、9月議会がいいという意見と、知事は前向きに検討するとの県議会答弁もあり時期尚早、また意見書の内容も不適切という意見が出され、採決の結果 賛成少数で否決となりました。

総務委員会

★所管 総務部、政策経営部、市民部(戸籍・住民登録等)、出納室、消防本部、選挙管理委員会、監査委員、他の委員会に所属しない事項

当委員会に付託されました条例議案1件、一般議案1件、補正予算議案2件について審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。主な内容は次の通りです。

○税条例の改正

複数の内容がありますが、市民に直接関係がある部分は、「公的年金から特別徴収する個人市民税について、年間の徴収税額を平準化すること」です。これまで4・6・8月徴収分は前年度本徴収額の平均額を仮徴収していましたが、一度生じた不均衡が平準化しないため、今回の改正で、仮徴収額を前年度分の年税額の2分の1とするものです。

税額そのものは変わりませんが、4・6・8月に納めて頂く額とそれ以降の額との差が小さくなります。(平成28年10月以後の特別徴収から実施)

(例) 65歳以上の夫婦世帯

(夫の個人市民税額：6万円、妻は非課税)

年度	年税額	現 行	
		仮徴収額 (4・6・8月)	本徴収額 (10・12・2月)
N	60,000円	10,000円	10,000円
N+1	※36,000円	10,000円	2,000円
N+2	60,000円	2,000円	18,000円
N+3	60,000円	18,000円	2,000円



年度	年税額	改正後	
		仮徴収額 (4・6・8月)	本徴収額 (10・12・2月)
N	60,000円	10,000円	10,000円
N+1	※36,000円	10,000円	2,000円
N+2	60,000円	6,000円	14,000円
N+3	60,000円	10,000円	10,000円

※医療費控除の増などがあった場合

○補正予算：国際交流推進事業

(旅費、委託料、高速道路使用：98万4千円)

伊万里港の更なるポートセールスのため、貿易輸入額の第1位が日本である台湾との新たな航路開設や、将来的な観光・経済・文化交流に向けた可能性を探る目的で、視察団を派遣するものです(2泊3日)。市長、議長、随行、事務局、通訳の5人分は公費、他には商工会議所2名、観光協会1名、陶磁器工業組合1名も参加されます。「今後どのように生かすのか」との委員からの質問に対し、「関係者とのコネクションを持ってポートセールスにつなげたい、観光面では県との連携も必要」との答弁があり、佐賀空港から伊万里市への観光客の交通手段についての議論もありました。

○現地調査：市民センター管理運営事業

(修繕料：183万8千円)

市民センター《平成3(1991)年オープン》の空調が不調をきたし、修繕予算が出されたため現地を確認しました。また、市民会館舞台装置の状況についても視察し、今後の課題を確認しました。



◎樋渡 雅純 ○梶山 太
内山 泰宏 馬場 繁 多久島 繁
前田 久年 笠原 義久 盛 泰子

文教厚生委員会

★所管 市民部（保健・福祉・環境・人権同和）、教育委員会

当委員会に付託されました条例議案2件、25年度一般会計補正予算、25年度特別会計補正予算3件について審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。主な内容は下記のとおりです。

条例議案

- 「子ども・子育て会議条例」は子ども・子育て支援事業計画に関する事項等を調査審議する機関として、子ども・子育て会議を設置するための条例を制定するものです。
- 「国民健康保険税条例の一部を改正する条例」は地方税法の改正に伴い、上場株式等に係る配当所得等の分離課税の対象に特定公社債の利子を追加するなど、所要の措置を講じるため改正するもの。

予算議案

民生費

- 特別支援学校留守家庭児童健全育成事業
……………372万4千円
留守家庭児童クラブにおいて、平均利用者数の増加に伴い指導員配置が増えたことから、委託料が当初見込みより不足するため増額を行うもの。
- 安心こども基金保育士等処遇改善臨時特例事業
……………3,003万2千円
保育士等の人材確保のために、賃金等の処遇改善を行う私立保育所に対し補助を行うもの。

衛生費

- 小規模下排水路整備事業……………31万4千円
小規模下排水路整備を行う地区に対し一部を補助するもので、今回は山代町久原2区に補助するものです。
- 環境センター管理運営事業……………1,540万円
31年が経過し老朽化が著しい環境センターにおいて、1号炉を中心として補修及び修繕を行うものです。

教育費

- 外国語教育充実プラン事業……………20万円
アメリカンスクールとの交流で英語に対する興味や関心を高めるとともに、コミュニケーション能力の向上を図る事業で、今回は青嶺中学校、滝野中学校で行うものです。
- 公立幼稚園管理運営事業……………24万5千円
黒川幼稚園の送迎用駐車場の整備。

- 過疎集落等自立再生対策事業……………450万円
波多津町あぐり山の再開発や地域特産物販売促進事業等に必要な施設整備等に係る費用に対し補助するもの。
- 公民館等を中心として社会教育活性化支援プログラム事業……………176万2千円
いじめや不登校、児童虐待等の課題を抱えた家庭への支援を行うとともに、専門家や関係機関との連携によるサポート体制を構築する事業。
- 公民館管理運営事業……………85万円
耐震診断の結果、建築基準法による耐震性能を満たしていなかったことから、補強に係る施設設計を行うものです。
- スポーツ振興支援事業……………5万9千円
全日本大学9ブロック対抗準硬式野球大会の開催に伴い、開催経費の一部を助成するもので、会場は伊万里、嬉野、鹿島で行われ、伊万里市は11月16日に3試合行われる。
- 体育施設管理事業……………85万円
7月6日の梅雨前線豪雨により、南波多ゲートボール場下の法面が一部崩落したことから、復旧工事を行うもの。

現地調査

現地調査は、佐賀県西部広域環境組合ごみ処理施設建設予定地（伊万里市松浦町）へ、防災・環境施設対策調査特別委員会とともに行って来ました。取付道路工事、敷地造成工事、流末整備工事はそれぞれ3工区に分けられており、進捗状況は取付道路工事、1工区100%、2工区75%、3工区100%。敷地造成工事1工区48%、2工区62%、3工区69%。流末整備工事、1～3工区100%の状況です。また、エネルギー回収推進施設及び粗大ごみ処理施設に監視は、月1回の月例会議と月2回の設計分科会が設けられ、実施設計に係る協議が受注メーカーとコンサル会社、及び組合事務局で行われ、平成27年10月供用開始に向け進められております。



- 草野 讓 ○山口 恭寿
東 真生 副島 明 松永 孝三
松尾 雅宏 渡邊 英洋 福田 喜一

産業建設委員会

★所管 産業部、農業委員会、建設部、水道部

当委員会に付託されました、工事請負契約の締結議案1件、一般会計補正予算議案2件、特別会計補正予算議案4件について審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。主な内容は、次のとおりです。

工事請負契約の締結は、浸水対策事業馬伏ポンプ場建設工事を3億4,261万5千円で、黒木・吉永建設共同企業体が請負うものです。

一般会計補正では、商工費で、高速バスの車体を、伊万里の絵柄でラッピングしPRするための委託料256万2千円、観光業務に精通した人材派遣を受けるための経費279万7千円、農林水産業費で、二里町炭山地区活性化のため必要な施設整備補助金450万円、水路改良等小規模土地改良事業補助金200万円、今夏の豪雨により被災した林道や林地を保全する経費690万円などが計上され、土木費では、市道の維持管理に要する経費2,240万円、市道整備に要する用地購入費1,600千円、河川の排水機場修繕や土砂浚渫工事経費4,418万8千円などが計上されました。災害復旧費では、今夏の豪雨被害による農地及び農業用施設災害復旧費3,280万6千円、急傾斜地崩壊防止工事費400万円、公共土木施設災害復旧費2,867万6千円が計上されました。

下水道事業では、浄化センターの設備修繕や汚水管理設工事費996万円が計上されました。水道事業会計補正では、老朽化した川

東浄水場の本格改修に先行し、送水管の移設工事を行う経費4,000万円が計上されました。

なお、補正予算に計上されている災害箇所のうち、3箇所の現地視察を行いました。

- ・南波多町府招下第1地区
急傾斜地崩壊防止
- ・波多津町木場
農業用施設災害復旧 深谷ため池
- ・立花町富士町
市道川東・富士町線災害復旧工事



深谷ため池



富士町線現場

- ◎高木 久彦 ○井手 勲
- 松尾 博幸 香月 孝夫 前田 和人
- 井手 清敏 占野 秀男 田中 啓三

議会運営委員会視察報告

議会運営委員会報告

埼玉県所沢市議会

7月24日(水) 15:00~16:30

議会改革について

○議会事業評価報告書、議会改革報告書の導入経緯と成果

所沢市議会では、平成21年6月に所沢市議会基本条例を制定した。議会事業評価は、基本条例の実行を示す手段として、行政が行っている事務事業評価を導入したもので、その成果としては、議会の活動成果を残すことで議員の意識付けや議会活動のB/Cの検証、また市民には議会の発信力を見せることで議会に対する批判に応えるものになると考えている。



埼玉県飯能市議会

7月25日(木) 10:00~12:00

議会改革について

○タブレット型端末の導入経緯と利用方法について

飯能市議会では、議会改革の取り組みの中で、タブレットを導入した。その背景には飯能市が紙の使用量が増加していることから平成23年度からペーパーレス化に取り組んだ



ことを受け、議会改革検討委員会において、情報機器を活用し、環境に配慮するとともに事務効率化等を視野に会議のあり方等の検討を重ね、平成24年4月からタブレットの導入を決定したものである。その利用法として、①全員協議会のペーパーレス化 ②議会内の情報伝達 ③危機管理上の緊急連絡 ④政務調査活動 ⑤各種資料の閲覧、各種計画等、既存電子データ利用等である。

東京都青梅市議会

7月25日(木) 14:30~16:30

議会改革について

○議会基本条例制定への取組み状況

青梅市議会では、平成19年6月議会改革推進特別委員会を設置し、議員個人または会派から改革の提出を求め、改革に取り組んできた。この中で、議会基本条例の制定について検討してきたが、様々な意見があり、結論としては、同基本条例の制定をすべきであるが、今後検討組織を含め内容等の調査を引き続き研究しながら取り組むとした。

平成23年5月の改選後、議長から議会運営委員会に「議会基本条例の制定について」諮問がなされ、同委員会では、先進地の視察等を行い、検討を進めてきたが、同基本条例の制定については、今後検討していく必要があるとし、当面は見送ることとした。



◎松永 孝三 ○馬場 繁
井手 清敏 梶山 太 笠原 義久
占野 秀男 田中 啓三 盛 泰子

交通網・港湾・企業誘致対策調査特別委員会

1. 西九州自動車道の整備について

唐津伊万里道路については、北波多ICから谷口IC間が平成26年度、谷口ICから伊万里東IC間が平成29年度供用開始予定となっている。

伊万里松浦道路については、山代ICから今福IC間は平成26年度供用開始予定となっている。山代東ICから伊万里東IC間についての工事着工は現在のところ未定である。

また、本委員会は、伊万里・平戸・松浦市議会、佐々町議会で構成する西九州自動車道建設促進協議会を構成して活動を行っており、8月30日に佐賀県知事、議会及び佐賀国道事務所に対して建設促進の要望を行った。

今後も引き続き国の関係機関及び佐賀、長崎県選出の国会議員に対して要望活動を展開する予定である。

2. 港湾整備等について

伊万里港はガントリークレーン設置が行

われると同時に-13m岸壁が完成し、今後は-13m岸壁の附属施設整備や航路の浚渫工事が予定されている。

また、臨港道路瀬戸久原線、伊万里湾大橋については4車線への工事が行われており、今年度は上部工の架設が予定されている。

将来的な港湾予定地として浦ノ崎地区の埋め立てが進められている。西九州自動車道付近という立地条件等、港湾や企業立地の面で大いに期待が持てる。

3. 企業誘致について

平成25年度4月から8月末までの立地勧奨は8社（延べ11回）であり、立地企業に対するフォローアップは16社（延べ55回）への訪問が行われている。

厳しい経済情勢の中で取り組みが行われているが、ここ数年間企業誘致の状況も停滞しており、今まで通りの活動を進めるのではなく状況の変化に合わせて新しい工夫や、情報のアンテナの張り方等適切に対応していくよう要望する。

行政視察報告（8月19日～21日）

(1)浜田市浜田港の港湾整備について

木材の部門で日本海側拠点港に選定されており、県外の木材を集めての輸出が主になっている。

平成25年4月から各関係機関の連携を目的とした浜田港湾振興センターを開設されている。

(2)宇部市宇部港の港湾整備等について

もともと石炭の積み出し港として栄えており、現在は工業を主とした臨海都市である。外国からの輸入は主に原油と石炭であり、国際バルク戦略港に選定されている。融通の利く港として大規模な港湾との差別化を図っている。



(3)北九州市の企業誘致、港湾整備について

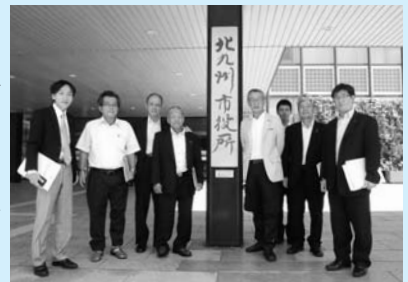
①企業誘致について

ワンストップサービスによる行政のバックアップを行っており、大半の手続きを市で対応することができるようになっている。

企業誘致の規模も大きく、パンフレット等で企業に対する情報が分かりやすくまとめられている点など参考にすべき部分が多かった。

②北九州市門司港の港湾整備等について

下関港と併せて日本海側拠点港の主要5港に選定されており、国際海上コンテナや国際フェリー、RORO船等アジア域内のサービスが強化されている。



◎福田 喜一 ○前田 和人
香月 孝夫 井手 勲
山口 恭寿 松尾 雅宏 渡邊 英洋

防災・環境施設対策調査特別委員会

特別委員会報告

1 伊万里市の防災行政について

- (1) 原子力防災資機材の配備等について
対象地域が30km圏内に拡大されたことから、4月19日、新たに安定ヨウ素剤を53,500人分（成人換算）追加配備されました。また、固定式モニタリングポスト3台が波多津東幼稚園、東陵中学校、伊万里市消防本部に追加設置され、本年4月から運用が開始されました。
- (2) 防災センターの設置について
災害時における災害対策の拠点として、市役所3階にある旧第4会議室にテレビ会議システムなどを備えた「伊万里市防災センター」が設置され、今後は、ここを拠点に、防災情報や現地の被害状況の把握など情報を一元的に把握し、より能率的な防災対策の実施が行われます。
- (3) 伊万里市地域防災計画の見直しについて
昨年9月6日に行われた国の防災基本計画の改定や原子力災害対策特別措置法等の改正を受け、本年5月に伊万里市における防災対策の指針となる「伊万里市地域防災計画」が改定されました。また、原子力災害対策編では、災害予防対策計画のなかで、安定ヨウ素剤の適時・適正な配布・服用に関する事項が定められたほか、災害応急対策計画では、特定事象発生時における住民の避難等について、国が示した明確な基準をもとに実施することが新たに定められています。

2 佐賀県西部広域環境組合ごみ処理施設について

- (1) ごみ処理施設建設の進捗状況について
ごみ処理施設の建設、造成については、平成24年度から本格的にスタートし、平成25年7月末現在、取り付け道路や流末整備工事がほぼ完成し、敷地造成工事においても本年11月下旬の完工を目指し着々と進捗しており、施設全体の輪郭をしっかりと確認できるほど進捗しています。

(2) 地域振興策事業について

地域振興策事業については、総事業費10億円、実施期間を平成25年度から平成34年度までの10年間として、「宿分公民館の整備」「市道中通上分線の路肩法面工事」「市道中通3号線の側溝整備工事」「市道中通柚木原線の改良工事」「市道宿分5号線の改良工事」「松浦町運動広場の拡張整備」「スポーツ・レクリエーション施設の整備」の7事業が実施される予定です。



3 意見・要望（主な質疑）

- (1) ペットボトル等のリサイクル施設については、構成市町により施設の老朽化にばらつきがあるため、当面の間は各市町にある既存施設を使用することで、組合での建設が先送りされている。しかし、広域ごみ処理施設の設立目的や意義、施設建設に向けても、やはり、一箇所で処理を行うことが望ましいことから、施設建設に向けて、構成市町内でいち早くコンセンサスを築き上げ、計画的な進捗を望むとの意見が委員からありました。
- (2) 災害時においては、情報伝達が非常に重要なことから、市民の安心・安全を守り、被害を最小限に食い止めるための備えとして、防災行政無線などの災害情報伝達網の早期整備を求めるとの意見が委員からありました。

◎前田 久年 ○東 真生
副島 明 多久島 繁
草野 譲 樋渡 雅純 高木 久彦

一般質問 (質問順)

議員名	質問事項	議員名	質問事項
山口 恭寿 (一問一答)	1. 伊万里市の観光戦略について 2. 集合税の前納報奨金について	福田 喜一 (一問一答)	1. 難視聴地域の解消に向けて、CATV (ケーブルテレビ) 網の拡張 2. 竹の古場公園山頂までの登山道の整備について
井手 勲 (一問一答)	1. 教育行政について (1)小・中学校規模適正化 (その後) (2)食物アレルギー対策 (その後の取り組み) 2. 公立保育園の現状について 3. 西九州自動車道について (1)インター名称の件 (2)開通に伴う産業振興策 (3)市道取付について 4. 市民サービスについて	前田 和人 (一問一答)	1. 伊万里市の観光戦略について (1)福岡都市圏への取り組み成果と今後 (2)外国人観光客誘致受け入れ体制 (3)対外的観光PR情報発信について 2. 職員のレベルアップ支援について (1)人材育成計画・施策 (2)職員の外部派遣研修 (3)公務員のプラスワン運動 3. 伊万里の前進への新たな取り組みについて (1)ビジネスチャンスをつ捉える動き
占野 秀男 (総括)	1. 原発事故を含む災害避難対策について (1)万一に備えた避難対策、児童、小中生、学生、高齢者施設、高齢者一人暮らし、自家用車のない人 (2)避難先の考え方 (3)避難道路の整備、船舶の利用計画 (4)九電との安全協定について 2. 都市計画道路のあり方と今後の見通し (1)国道204号整備 (2)204号バイパス (3)大坪小学校線の対応 3. 市営射撃場の今後のあり方について (1)再考した結果の考え方 (2)伊万里市の社会体育方針とクレール競技への考え (3)全国の射撃場の鉛対策 (4)環境対策審議会と鉛問題、一部住民の要望への対応 (5)有害鳥獣対策への活用 4. 来年4月市長選挙の考え	馬場 繁 (一問一答)	1. 競技スポーツ全国大会等出場費補助金について 2. いまりんバス事業について
副島 明 (一問一答)	1. 九州電力との安全協定について (1)立地自治体の定義と範囲の考え方。伊万里市、県、電力会社 (2)事前了解の主旨について九州電力と伊万里市の考え方 (3)立地自治体なみの事前了解を求め続ける目的 2. 伊万里市散弾銃射撃場環境対策検討委員会について (1)対策をしなければならない当事者の法的根拠 (2)旧射撃場施設の位置について (3)検討委員会第1回会議結果報告について	松永 孝三 (一問一答)	1. 塚部市長 (3期目) の市政運営について
		高木 久彦 (一問一答)	1. 塚部市長の4選出馬について (1)過去2期半の実績と評価 (2)今後の課題 (3)4選出馬の意思 2. 木材都市としての位置付けについて (1)木材の集積状況 (2)木材 (林業) 教育の取り組み (3)今後の展開 3. 住民の居住実態について (1)住民基本台帳 (住民登録) の信憑性 (2)実態調査の実施
		盛 泰子 (一問一答)	1. 危機管理について (1)災害時初動図上訓練の成果と課題 (2)原子力防災 2. 市役所における障がい者の雇用について (1)現状 (2)今後の計画 3. 民生委員・児童委員について (1)委員の状況 (2)活動費のあり方 4. いじめ問題等に関する第三者機関の検討状況

一般質問

伊万里市の観光戦略について

山口 恭寿

質問 昨年9月議会で大川内山の風鈴祭りに合わせて、市内にも風鈴を飾り付けてはと提案していたが。

答弁 産業部長

予算8万円で80個の風鈴を市役所と駅に飾りつけた。

質問 3月議会の議案質疑で各種団体との連携と言う事で商店街等にも取り付けると答弁だったが。

答弁 産業部長

予算50万円分の風鈴は梅田阪急、博多阪急のイベントで利用した。来年、検討する。

質問 伊万里市のキャラクターなら、モーモちゃんではなく、伊万里市全体をイメージ出来るものを新しく作った方がいいのではないか。

答弁 市長

モーモちゃんで行く。また、市役所内に作っているチームモーモちゃんと担当



課でくまモンのように市のPRに利用して行きたい。

集合税の全期前納報奨金について

質問 全期前納報奨金を6月末納付から民間の夏季賞与に合わせて7月末納付にするよう提案していたが。

答弁 総務部長

現在7月末納付にするには、10期で考えると年度末をまたいでしまい、法的に出来ない。また、9期にして3月末までにしてしまうと、1期あたりの納付額が上がってしまう、市民の皆様

様に負担をかけてしまう。**質問** 全期前納報奨金を将来的に無くすと聞いたが。

答弁 市長 事務方はなくす方法で考えていたが、私の判断で今後も継続して行っていく。

教育行政について

井手 勲

質問 伊万里市小中学校規模適正化中間答申についてお伺いしたい。

答弁 教育部長

三月十四日に中間答申が出され付帯事項の諮問のうち、①南波多中学校の位置づけ。南波多小学校との小中連携教育を更に生かした特色ある小中一貫校として存続させる。②国見中学校、滝野中学校は統合することについて。

山間地の小さな学校の特色を生かしたこれまでの滝野小学校との小中連携を生かし、小中一貫校として存続させる。両校とも、平成二十六年四月から現在の施設を利用した隣接型からスター卜し将来的には、効率的な同一敷地内の一体型小中一貫校として進めることの承認を受けた。

西九州自動車道供用開始に伴う産業振興策について

質問 自動車道開通に合わせて行政の支援を受け地元住民による農水産物の直売所をI・C付近に設ける事は可能か。

答弁 産業部長

伊万里市にとって大きなチャンスが来ていると思っ

ている。インターを降りてすぐの所に集客力のある施設があれば観光客が立ち寄り活性化につながる。地域でその様な機運が高まれば支援を行う必要があると考える。

市民サービスについて

質問 職員の名札は市民が気がねなく分かる様に、大きく分かり易い位置に改善できないか。

答弁 市民部長

名札の位置が低く見えな

来年4月の市長選挙出馬について

占野 秀男

質問 来年4月の市長選挙まで半年になったが、この間の反省と成果についてどう考えるか。また出馬の意向があれば抱負はなにか。

答弁 市長

私は1、全体の未来志向、2、地域ときめ細やかな市政を考えて取り組んできた。いまりんバスや企業誘致、学校改築、子育て支援など多くの事業が順調に進んだ。また今後、西九州自動車道、原子力防災、伊万里湾の開発、広域ごみ処理など、多くの課題もあり伊万里市をさらに発展させるためにも再度出馬したいと考えている。

都市計画道路について

質問 国道204号の渋滞対策も必要であるが、原発事故の際の避難道路が未整備であり、新しい道路を作るのなら防災対策を重点に

★一般質問の記事は、字数制限があるため、質問者の判断で割愛することがあります。

一般質問

計画、実施すべきではないか。大坪小学校線の取り組みの考えは。

答弁 市長、建設部長

ご指摘の通りと思うが事業主体が県であるため要望はしていきたい。

柳井町から栄町、大坪バイパスへの都市計画道路は間もなく着手したいが、沿線に住宅2軒があり具体化すれば移転等を相談したい。

市営射撃場の鉛対策と土地問題

質問 鉛問題解決の為環境対策検討委員会が設置され

第1回会議が行われた。地元要望に応えるため市なり努力はされてきたが、専門家の意見とは大きく違うようだ。今後は専門家の意見をよく聞いて対策をするべきである。また、個人所有土地の問題も法的に処理するのが妥当であり判断を誤らぬようすべきと思うが。

答弁 教育部長

検討委員会はまだ1回だけで今後2〜3回を予定しているの、今後の会議を参考に検討していきたい。

九州電力との安全協定について

副島 明

質問 市長が求めておられる事前了解を含む立地自治体並みの安全協定の立地自治体とは何処の自治体をしているのか。

答弁 市長

玄海町です。

質問 事前了解の主旨について九州電力と伊万里市の考え方に違いがあるように思えるが。

答弁 総務部長

玄海町との安全協定は昭和47年に締結されており、当初は九州電力がいわれている工事の安全が主旨なのかもしれないが東日本大震災以降考え方は変わっていると捉えている。

質問 玄海町の安全協定で事前了解の事項は3点あるが伊万里市が求めている事前了解の内容はどのようなか、また事前了解事項がなくても同等の担保を得る方法もある

のではないかと、県と確認書や覚書を交わす方法も考えられるのではないかと。

答弁 市長

九州電力に玄海町並みの事前了解事項を求めていく考えです。九州電力も安心安全に自信があるなら協定を結んでもいいはずだと考えます。

伊万里市散弾銃射撃場環境対策検討委員会について

質問 第1回の検討委員会

で委員の意見に土壤汚染対策法では汚染原因者が誰であつても土地の所有者が調査をし、対策も講じなければならぬようになっていく。民法上の問題もあるの、民有地は除くべきとの発言があるがこれまでの伊万里市の見解とまったく違うが市の考えはどうか。

答弁 教育部長

まだ1回目の検討委員会なので、これからの検討委員会の中で検討していかなければならないと考えます。

難視聴域の解消に向けてCATV(ケーブルテレビ)網の拡張について

福田 喜一

質問 滝野地区はテレビが何よりの娯楽でもあり緊急時の連絡網でもある。議会中継や市の催し物も一切見ることができません。同じ市民として遺憾に思うが市はどのように思っているか。

答弁 総務部長

行政情報が視聴できないのは十分理解をしています。今後ケーブルテレビ網の延伸についてはケーブルテレビの事業者と市の情報課から地元に向き説明を致したいと思います。

答弁 市長

基本的には情報の格差はあつてはならないと思つています。ケーブルテレビ網が接続していないところは何とかしたいと思つている。情報の格差をなくすためにはやらなければならないと思つています。

竹ノ古場公園山頂までの登山道の整備について

質問 玄海国定公園である

竹ノ古場公園の山頂からは伊万里湾が一望できる絶景の場所であるが、高齢者や障害者は山頂まで登るのに大変苦慮をしている。高齢者や障害者の親身になって考えてもらいたい。

答弁 産業部長

山頂まで容易に登られる道ではなく高齢者や障害者の方には大変苦勞されていると思つています。頂上までは道幅が狭い管理道路一本で当方としてもこの対策には大変苦慮している。地元区長と協議をして今後の対策を検討したい。

答弁 市長

私も毎年つづじまつりに山頂まで登るが、大変な坂道で登り終われば息が詰まるほどの所である。高齢者や障害者には大変苦勞されていると思つている。何か対策がないものか考えたい。

一般質問

伊万里市観光戦略

前田 和人

観光客誘致について、福岡都市圏からの誘客を中心に始めているが、状況は。

産業部長

伊万里ブランド浸透を狙い、25年度もさらに継続して各種イベントを実施する。

観光・集客戦略を策定し、発表しているが、福岡市との連携を深めるべきだ。

産業部長

福岡の集客力にも期待しながら、関連した観光ルートの開発など、さらに伊万里への集客につなげていく。

産業部長

外国人観光客は日本全国でも増加傾向にあり、受け入れ準備は必要と認識する。

重点政策である認識と、職員の福岡市派遣も含めた強力な推進体制を。

市長

まず全職員の観光に対する意識改革と、観光関係者はじめ伊万里市全体で盛り上げる体制づくりに努める。

職員のレベルアップ支援

市職員に対する期待

役割が大きく変化している中、職員の育成・パワーアップは重要な命題である。育成計画と今後の課題について確認したい。

副市長

平成16年に策定した人材育成計画に基づき各種研修を実施している。時代の変化に対応して、実態・ニーズに応じた研修メニューを工夫していく。

研修充実、特に外部派遣強化についてお願いしたい。

市長

人材育成の重要性を再認識すると同時に、予算の確保についても配慮していきたい。

競技スポーツ全国大会等出場費補助金について

馬場 繁

「2年連続及び宿泊費を補助対象外、人数を先発メンバーに限定」している理由は。見直しはできないのか。

②学校体育と社会体育で同じ小・中学生の扱いに違いがある。両体育に対する見解は。

③全国大会等出場は市民の頑張った結果で観光面等にも波及効果がある。市長は全国大会等出場をどう考えているか。

教育部長

①限られた予算で広く公平に補助金がいくよう平成19年度に改正した。委員会所管の他の補助金も削減しており見直しは困難である。

教育長

②両体育とも規律性や社会性等を身につける大変意義ある教育活動と考えている。ただ運用について諸条件を考慮した結果、一定の差が生じている。

③全国大会等出場は勇気と感動を得てスポーツの力を感ずる。選手の頑張りに必要と激励が重要と思う。来年度はこの補助金の予算枠を増やし支援をしていきたい。

市長

いまりんバス事業について

地域線（北部・西部・東部）の利用者が少ないが利用促進の取組みは。

②未供用地区（松浦町）の運行についてどのように考えているか。

政策経営部長

①区長会や利用者の意見要望を「市民と考える地域交通会議」に諮り時間の変更や増便、路線の延伸等できる限り取組み、利用促進に努めている。

②当初の運行で松浦町は利用者少なく廃止した。今後、同町の状況に応じて検討したい。

塚部市長の3期目市政運営について

松永 孝三

マニフェストの達成度について。

市長

本年4月時点で、担当部署による評価を実施したところ、全体といたしましては、88・7%の達成率という結果となっております。

市政へ取り組み基本姿勢の成果と課題。

市長

①医療・福祉②子育て③教育・文化④産業⑤都市基盤・生活環境の5つ分野において、市民の皆様が実感できる形として表すことができましたものと考えております。課題としては防災体制の充実が挙げられます。二つ目には、市政発展のためには、伊万里湾総合開発が挙げられます。

一般質問

質問 今後の浦ノ崎地区の開発について。

答弁 市長

浦ノ崎地区の開発につきまは、本市発展のためには重要課題として取り組んでまいります。早期に港湾計画の変更を県に求め、埋立のスピードアップが図られよう、公共残土の積極的な投入等についても、国や県に働きかけたい。

質問 九州電力との安全協定について。

答弁 市長

立地自治体並みの協定を求めています。「事前了解」は、市が了解しない限り、それらの行為を進捗させないように行うことができます。原発の施設変更や運転等が慎重に行われる効果が生まれる。国や九電に対し、安全性について住民説明会の開催により、市民の理解と安心感を与えることができます。今後九州電力とも粘り強く交渉を行ってまいります。

塚部市長の4選出馬について

高木 久彦

質問 3期市政を担当されてきた中で、積み残したことは何か。又、4選へ向けての抱負を聞きたい。

答弁 市長

やりたいと思い、やれなかったことを敢えて言えば、一つは、学校環境整備で、市内多くの学校が老朽化しているの、何とか改築を図りたいと思っていたが、思うようには行かなかった。もう一つは、下水道事業の拡張である。事業を拡張することは、どうしても起債が増えることになるので控えた。4選への抱負は、西九州自動車道など、国、県事業を更に進めたいこと、ソフト面では、「健康・長寿日本一」を引続き目指すことや、子育て支援で、財源確保が出来れば、学校給食費の負担軽減に努めたい。又、産業面では、市・農協・商

工会議所で「まちづくり会社」創設を検討し、市内産品の販売拡大に役立てたいと思う。

木材都市としての位置付けについて

質問 伊万里団地には、相当量の木材が集積されている。今後国産材の需要拡大が推奨されるので、本市を改めて「木材都市」と位置付けし、木材企業への支援や人材育成のための専門学校誘致などに取り組むべきではないか。

答弁 市長

木材の集積量は九州一である。市としても、企業とセツトで何とか専門学校が設置出来れば良いと思う。又、市民病院跡にでも、木材関係の研究施設などが考えられる。専門学校の設立については、法人で出来ないか模索していきたい。※「住民の居住実態について」は、紙面の都合により、割愛させていただきます。

いじめ等第三者委員会

盛 泰子

質問 6月議会で提案したが検討状況は。

答弁 教育長

教育委員で嬉野市の状況を視察の上、協議した。未然防止や体罰の問題の対策などに必要性の認識が一致したので協議の上、具体化した。

市役所の障がい者雇用

質問 法定雇用率を臨時職員数でクリアしている現状は問題。正職員の採用を。

答弁 ①総務部長 ②市長

①今年度の試験で、障がい者枠を予定していたが、採用が4名に留まったため実施できず申し訳ない。②ある程度の採用計画をしながら、障がい者枠を必ず設けるようなくみづくりが必要だと考える。

原子力安全協定

質問 ①立地自治体並みの協定を求める姿勢を貫くために、県に具体的に何を求めるか。②市長の考えは。

答弁 ①総務部長 ②市長

①「伊万里市民の不安を訴え九電への安全協定締結の働きかけ」と「伊万里市との安全協定への立会い」を求める。②原因者である九電に安全の担保を求めるため、県の協力が必要。

民生委員・児童委員

質問 地域における民生委員の活動は今後ますます重要になるが、受持ち世帯の差が大きく、活動費も県内の市では下から二番目。活動しやすい環境づくりが必要だ。

答弁 ①市民部長 ②市長

①受持ち世帯については今後関係者と協議する。②活動費の状況は把握したので、区長手当てもそうだが、今後の検討課題。

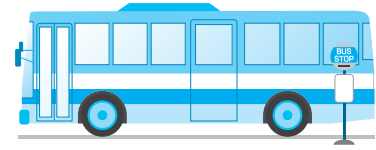
ラッピングバス走る!!



編集後記など

西九州自動車道が平成26年度に谷口インター（仮称）まで開通することから、伊万里―博多間を結ぶ高速バスの車体全体を、広告でラッピングするもの。

広告によりバス利用者だけでなく、福岡都市圏の様々な人に動くメディアでさらなる観光PRの推進を行うもので、そのための委託料256万2千円が予算化されました。



平成24年度 決算特別委員会

平成24年度水道事業特別会計決算、および平成24年度工業用水特別会計決算の2企業会計と平成24年度一般会計決算、9特別会計決算認定については、それぞれ「決算審査特別委員会」を設置して休会中に審査することになりました。

企業会計

委員長 笠原 義久
副委員長 多久島 繁
委員 松尾 博幸
東 真生
前田 和人
草野 譲
樋渡 雅純
田中 啓三
福田 喜一

審査日程 11月6、7日

一般会計・特別会計

委員長 盛 泰子
副委員長 井手 清敏
委員 香月 孝夫
副島 明
井手 勲
馬場 繁
梶山 太
山口 恭寿
松永 孝三

審査日程 11月1、5、6、7日(予備日8日)

発行 伊万里市議会
伊万里市立花町二二五〇一
0955-23-2594
0955-22-1277
E-mail:gikai@city.imari.jp
印刷 市議会だより編集委員会
山口印刷株式会社

編集委員
◎占野 秀男○香月 孝夫 東 真生
井手 清敏 山口 恭寿 盛 泰子
顧問 松尾 博幸 松永 孝三

秋晴れの青空の下、黄金色の田んぼに真っ赤な彼岸花が目鮮やかです。実りの秋、スポーツの秋、7年後の東京オリンピック開催が決まりました。さて、伊万里市の9月議会は塚部市政3期目の節目としての評価と4選への決意を問われる議会でした。自立した行政運営と変革を求められる中に、市政も議会も山積した問題に真正面から真剣に向き合う時が来ています。市民の皆さんに納得して頂ける議会運営を、と心を砕いているところです。

議会だよりを一読頂き、議会への関心と厳しい御意見とご理解を頂きますように宜しくお願い致します。市民の皆様一人一人の御健勝が市政の活力の源です。生き生きと明るい人生を心より祈念いたします。(清)

編集後記



お知らせ

供日が近づいて参りましたが、公職選挙法の規定により、市長・議員は選挙区内の人に対して、酒食等を提供することは出来ませんので、ご了承ください。